

# デジタルリポジトリの認証基準

青森中央短期大学  
司書課程 専任講師  
後藤 敏行

# なぜデジタルリポジトリが必要なのか？

*Preserving Digital Information*(1996)の議論

- デジタル情報の喪失防止の責任を  
最初に担うのは、情報の作成者側
- 情報作成者が保存の責任を引き受け  
なかったときのフェイルセーフとして、  
デジタルリポジトリが必要

# なぜデジタルリポジトリの認証基準が必要なのか？

## *Trusted Digital Repositories* (2002) の議論

- デジタルリポジトリが通常業務を通じて利用者の信頼を得ようとするれば、長い時間を要する。しかし、デジタルリポジトリの信頼性判定は急務
- 認証基準を設け、それによってリポジトリの信頼性を判断可能にするべき

# 『チェックリスト』刊行まで

- 2003年, RLG・NARA合同TF設立
- 2005年, *An Audit Checklist for the Certification of Trusted Repositories* を起草。パブリックコメント募集
- 2007年, *Trustworthy Repositories Audit & Certification* (『チェックリスト』) 刊行

# 『チェックリスト』の内容

- 欧米の識者や諸機関の提案, 並びに現時点での最善の事例に基づく
- デジタルリポジトリが信頼に足ると判断されるために必要な, 組織基盤や技術要件に関する基準を84項目策定

# 『チェックリスト』の用途, 今後

- 用途: デジタルリポジトリの監査認証の他, 新たなリポジトリ構築の指針, 利用者への説明にも有用
- 今後: ISOの標準化プロセスを予定

## その他の認証基準

- nestor, DCC・DPEもそれぞれ独自の  
認証基準を策定
- nestor, DCC, DPE, およびCRL, 合同で  
「デジタルアーカイブの主要な要件」発表  
(2007年1月)

## とりあえずのまとめ

- 米国ではCRL, 英国ではDCCが, デジタルリポジトリの監査認証を予定  
→リポジトリだけでなく, *認証基準の改善点も明らかに??*
- 欧米の認証基準をわが国のデジタルリポジトリに適用しようとする際, 法律等のわが国固有の事情を勘案する必要